



おおさか

会長所感 “不易流行”

会長 佐藤啓一

不易流行…時代を超えて変わらない本質的なもの(不易)を大切にしながら、時代に応じて新しいものを取り入れて行く(流行)という概念の必要性は分かっているが、実際に上手く運ぶ事は難しい。不易に捉われ過ぎると現実とのギャップに悲観的になったり、馴染みの薄い人から距離を置かれたりする事になりかねない。流行に無関心であると停滞したり、重きを置き過ぎると刹那的な楽しみで終わったりしかねない。FFの不易はミッションと言い換える事が出来るが、受入れや渡航における行事やツアーを見ていると、一般的なものとは異なるFFらしさを感じる。ある研究によると、人は1日に1万2千~6万回もの思考をしていて、その内約8割はネガティブな内容との事。これが繰り返されると悲観バイアスに陥り、新しい事や変革に距離を置いたり排斥したりする様になる。この思考や判断に影響を与えているのは情報や世の中の出来事であるが、一人一人はその受け手であると共に影響を及ぼす立場でもある。大きなことだけでなく、他からの募集や案内に対して少しでも早く前向きに対応するといった事が人や組織を元気づける事になると考えられる。



2026年4月 台湾 新竹 Club 受け入れ



4月1日関空出迎え

スケジュール

- 4/1 関西空港出迎え
- 4/2 フリーデー
- 4/3 京都ツアー
- 4/4 地域交流デイ
- 4/5 フリーデー
- 4/6 フェアウェルパーティー
- 4/7 見送り

2026年4月1日~7日の日程で、台湾新竹クラブからの12名のアンバサダーを受け入れました。直前になって1名がやむにやまれぬ事情でキャンセルとなったのは残念でしたが、全員元気に大阪クラブとの交流を深めてくれました。

1年半前に、大阪クラブから渡航した際には、心温まるもてなしを受けとても感激いたしました。今回はそのお返しです。ACのAngelさんはじめその時にお世話になった何人かとの久しぶりの再会がかなえられたのもうれしい限りでした。台湾の人達は、とても陽気で活発な行動派。根っからの親日派で、あちこちで予想を上回る交流の輪が広がりました。

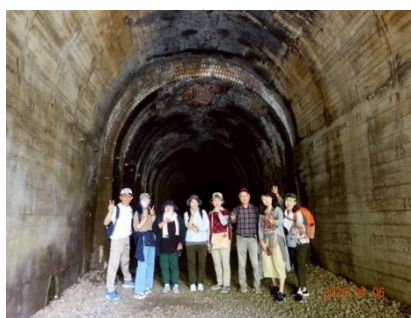
[4月3日] 京都ツアー 観光バスで京都駅を出発。金閣寺、妙心寺、龍安寺を訪問。



[4月4日] 地域交流デイ 京都地区は、きもの体験とバーベキュー。神戸地区は、寿司づくり体験などで楽しみました。



[4月2・6日] フリーデイ 各ホストがアレンジした一日を楽しみました。



[4月5日] フェアウェルパーティ 桜満開の大川を見下ろす大阪キャッスルホテルでフェアウェルパーティを行いました。





～笑顔と発見に満ちた交流の記録～

新竹から届いた文化の風 古屋志保子

来日前から連絡を取り合っていたアンバサダーは、旅行や文化交流、アウトドアなど幅広い活動をされているとても行動力のある方でした。滞在中も毎日エネルギッシュで、奈良や京都での観光、ショッピング、日本文化体験などを全力で楽しませていました。

奈良では写真を撮りながらお寺巡りを楽しみ、京都では歴史ある寺院を巡りながら落ち着いた雰囲気を楽しみました。着物体験では、自分に似合う着物を瞬時に選ばれ、その姿がとても印象的でした。

また、買い物や弓道体験、食事など、どんなことにも積極的に興味を持ち、周囲を明るく巻き込んでいく姿に感心しました。納豆や梅干しまで美味しそうに食べられる姿にも驚かされました。

行動力と温かい人柄に触れたことで、台湾をとっても身近に感じられるようになり、交流の素晴らしさを改めて実感した一週間となりました。



笑いの絶えない交流の日々 荒田桜子

台湾から二人のアンバサダーを受け入れました。年齢も近かったこともあり、初日からとても打ち解けた雰囲気、笑いの絶えない毎日となりました。

フリーデイには有馬温泉へ出かけ、一緒に買い物を楽しみました。皆さんの買い物のスピードとエネルギーには本当に驚かされ、「ウィンドウショッピング」と言いながら、気づけばたくさんの袋を持っておられる姿がとても印象的でした。

また、外出するたびに「食事をごちそうしたい」と何度も言ってくださり、お互いに財布を出し合う場面も交流の楽しい思い出となりました。スーパーでは朝食用にたくさんのパンやお饅頭を買ってきてくださるなど、優しい心遣いにも温かい気持ちになりました。

特に心に残っているのは、笑うツボが同じだったことです。様々な場面で一緒に大笑いし、「国が違っても笑うことは同じなのだ」と感じ、心がほっこりする交流となりました。



初めての受け入れで感じた温かさ 寺西明子

初めてアンバサダーを受け入れた時、とても気さくで話しやすい印象を受けました。共通の話題から自然に会話が始まり、すぐに打ち解けることができました。

家族と一緒に食卓を囲み、普段通りの家庭料理をお出ししましたが、とても喜んで食べてくださり、温かな交流の時間となりました。お互いの家族の話や趣味の話など、さまざまな話題で盛り上がり、外国の方

とここまで深く会話できたことは初めての経験でした。
滞在中は寿司作りやお茶体験、音楽会、ハイキングなどにも参加しました。雨の日には高齢の家族にそっと寄り添い傘を差してくださるなど、優しい気遣いにも感動しました
また、日本の家庭料理にも興味を持ってくださり、卵焼きの作り方や果物の切り方まで熱心に学ばれていました。きちんと整えられた部屋を見た時には、その丁寧な人柄を改めて感じました。
今回の受け入れを通して、人懐っこく優しい皆さんと出会えたことに心から感謝しています。



まるで合宿のような賑やかな毎日 朝倉隆夫・清美

アンバサダーを迎えた初日から、「帰ったらビールとお酒でいいよ！」という明るい一言で、我が家は一気に賑やかな雰囲気になりました。毎日がまるで合宿のようで、元気いっぱい時間が続きました。
皆さんは時間をきちんと守り、食器洗いやテーブル拭きも自然に分担してくださいました。何度も率先してお手伝いしてくださる姿に感心しました。



日本での滞在中は、ラーメンや居酒屋、ショッピングなど、さまざまなことに興味を持ち、あちこちへ出かけました。買い物への情熱や行動力には圧倒されるほどで、その元気さにこちらまで楽しい気持ちになりました。

また、日本の食材や果物をたくさん買ってくださり、一緒に食事を楽しむ時間も思い出深いものとなりました。

帰国の日、見送った後の家は急に静かになり、まるで台風が過ぎ去った後のようでした。それほど毎日が賑やかで、忘れられない交流の日々となりました。

温かい心遣いに触れた交流の日々 岩田幸子

今回久しぶりにホストをしました。台湾から来られた方はとても元気でフレンドリーで、しかも心配りが素晴らしく、すぐに打ち解けて色々な話をすることができました。以前日本に住んでいた経験もあり、日本語がとても上手だったため、会話にも困ることはありませんでした。
外出した後は、「夕食を作るのは大変でしょう」と外食を提案してくださるなど、常にこちらを気遣ってくださいました。食事についても「アレルギーがある」と言うことでしたが、自分で工夫して対応されていたので、こちらが困ることはほとんどありませんでした。



特に驚いたのは、自宅でパーティーをした後のことです。アンバサダーの皆さんが我が家の掃除機を探し出し、全員で掃除や拭き掃除までしてくださいました。その姿を見て、相手を思いやる文化や優しさに深く感動しました。

今回来られた皆さんは本当に素敵な方ばかりで、交流を通じてますます台湾が好きになりました。再会を約束してお別れしましたが、今までで一番楽しく、印象に残る受け入れとなりました。

一緒に過ごした特別な一週間 三枝恵子

今年初めてフルデイでアンバサダーを受け入れました。来日前から LINE でつながっていたこともあり、やり取りを通じて明るくしっかりした人柄が伝わってきたので、安心して当日を迎えることができました。



滞在中は台湾料理パーティーを何度か開きました。台湾から食材も持参してくださり、一人でたくさんの料理を次々とする姿には本当に驚かされました。友人たちを招いた食事会では、何品もの料理を振る舞ってくださり、作り方も丁寧に教えていただきました。家族にとっても新しい料理や文化を学ぶ貴重な機会となりました。

また、温泉や地域交流行事、寿司作り体験、ハイキングなどにも一緒に参加しました。桜が満開の中を歩きながら、美しい景色や自然を楽し

み、多くの思い出を作ることができました。

日本語もとても上手だったので、日本や台湾のことだけでなく、家族や仕事、日常のことまで幅広く語り合うことができました。帰る前には心のこもった手紙まで残してくださり、その美しい日本語にも感動しました。

何事にも全力で取り組み、大変なことも楽しみに変えてしまう前向きな姿勢から、多くのことを学んだ特別な一週間となりました。

桜の季節に再会できた喜び 古川マツエ

久しぶりに新竹の皆さんと再会し、桜が満開の時期に交流できたことをとても嬉しく思いました。

今回は地域交流行事とフェアウェルパーティーに参加しました。地域交流では着物体験とバーベキューが行われ、たくさんの着物の中から好きなものを選び、美しく着付けてもらう様子がとても印象的でした。参加された皆さんは男女とも本当によく似合っていて、日本文化を楽しんでくださっている様子が嬉しかったです。

当日は雨のためバーベキューは室内開催となりましたが、和やかで楽しい交流の時間となりました。また、手作り体験も喜んでいただけたようで、交流を通して笑顔が広がる時間となりました。

今回の交流行事を企画・運営してくださった皆さんへの感謝の気持ちとともに、改めて国際交流の素晴らしさを感じる機会となりました。



ハプニングも忘れられない思い出に 池田政綱

空港で海外からのアンバサダーを迎え、久しぶりの再会を喜びながら帰宅していた途中、思いがけないトラブルが起きました。夜道で車のトラブルに見舞われ、対応に時間がかかってしまいましたが、幸い全員無事で、大きな事故にならなかったことにほっとしました。

波乱のスタートとなりましたが、その後は予定していた行事にも無事参加することができました。地域交流行事や京都ツアー、ミニコンサート、フェアウェルパーティーなどを一緒に楽しみ、交流の時間を過ごしました。

アンバサダーの皆さんにはデイホストのサポートもあり、日本での滞在を楽しんでいただけたようで安心しました。満開の桜の中での交流は、ハプニングも含めて忘れられない思い出となりました。



桜の季節に再会できた喜び 宗廣はつ子

空港でアンバサダーを迎え、久しぶりの再会を喜びました。以前にお世話になった方々との再会でもあり、変わらない明るい笑顔に安心し、とても嬉しく感じました。

今回の滞在では、周囲の方々にも協力していただきながら受け入れを行いました。アンバサダーは好き嫌

いなく食事でも楽しんでくださり、お互いに気を使いすぎることなく自然体で過ごすことができました。また、フォトマニアのアンバサダーは毎日のようにたくさんの写真を撮影して共有していただき、その一枚一枚が大切な思い出となっています。最後の日には別れを惜しみながら見送りました。満開の桜の中で過ごした一週間は、とても温かく心に残る交流の時間となりました。

パワフルなアンバサダーとの心温まる数日間 金山忠夫・順子

今回の受け入れは、二人の女性のホームステイをシェアしました。事前にメールのやり取りをしていたこともあり、初対面とは思えないほど親しみを感じることができました。

最初のフリーデイは、奈良観光、続いての京都ツアーでも桜は満開、日本の古都の風情を楽しんでもらえました。

ジョイスは20年前に横浜に二年間住んでいました。ジャネットも日本に来たのは二回目ですがとても楽しみにされていました。

一日目の朝は和食でだし巻き卵、焼き魚、みそ汁、漬物も気に入ってくれ喜んで食べてくれました。夕食にはお好み焼きを一緒に作りました。毎日話題は尽きず台湾の生活、学校の事、趣味や食べ物のこと等朝から夜までお喋りが続きました。お土産にいただいた台湾で人気のゲームを教えてもらい4人で夜遅くまで楽しみました。

ジャネットは日本語を勉強していて沢山の質問を受けました。二人とも日本の文化や歴史にとっても興味を持ってきていることも嬉しかったです。



気負わずに楽しめた時間 佐々木智子

受け入れ前は、夕食をどうするか、フリーデイをどう過ごすかなど不安がありました。しかし、無理に頑張らなくてもいいと気持ちを切り替え、周囲のサポートもあって気楽に当日を迎えることができました。

実際に始まってみると、アンバサダーはたくさんのお土産を持って来てくれ、「お弁当を買って帰りましょう」「外で食べて帰りましょう」とこちらを気遣ってくれました。そのため、自分が作ったのは一度だけで、アレルギーもなく、本当に楽な受け入れでした。

終わってみれば、やっぱり楽しかったという思いが強く残っています。パワフルで明るいアンバサダーに元気をもらい、支えてくれた周囲の人たちへの感謝も改めて感じました。気負わず自然体で過ごせた、心地よい交流だったと思います。



2026年4月セントラルノースカロライナ受け入れ

4月13日～15日の日程で、熊本クラブとの交流に先立ってのストップオーバージャーニーとしてアメリカ、セントラルノースカロライナクラブのアンバサダー6人を受け入れました。

スケジュール

- 4/13 京都駅出迎え、弓道場見学
- 4/14 京都観光、二条城、金閣寺案内
- 4/15 見送り(広島へ向け出発)



出身はトリニダード・トバゴ

朝倉隆夫、清美

Charles と Marylin 夫妻は 82 才と 78 才で、Marylin は 1 マイルしか歩けないと書いてあったように立ち上がる時、誰かの支えが必要でした。

夜の 7 時から 9 時まで、町の英会話サークルに参加して、彼らの出身国であるトリニダード・トバゴ共和国の話をしてくださいました。

今回のような短い受け入れは、京都駅近くのホテルにステイしてもらい、デイホストとして京都観光のサポートした方がよかったですように思いました。



初めての経験だった畳と布団

石本 志奈江

今回受け入れた夫妻は医師と看護師のメデカルカップル。

布団で寝てもらったが布団は初めてのようだった。私がマット、敷き布団、シーツをセットして見本をつくと一緒になって手伝ってくれた。畳や布団にとっても興味があるようだった。

David は、並べた料理は積極的に挑戦して全部食べてくれたが、Melody は、味噌味、醤油味は少し苦手ようだった。



濃縮ホームステイ

古屋 志保子

たった 2 日間の濃縮ホームステイ。新幹線ホームでお迎えし、ランチを済ませたのち、弓道見学のため、武道センターまで移動。弓、矢に触れたり、しんとした道場の静寂の中で弓道修練の姿に日本文化を伝えられたとしたり嬉しいです。

祇園花見小路の置屋、お茶屋を見ながら京都最古の禅寺建仁寺の壮大さも体感。Lus さんは寿司、たこ焼き、居酒屋は初めてということで着物仲間と集まり楽しく語り大いに笑い良い思い出になりました。

出発の朝間際にとにかく着物姿を記念にと、着物を羽織ってもらい記念写真。足袋も帯締めも帯揚げも時間なく省略、それでもお似合いで未練なく出発され安心しました。



とても元気な82歳

金山忠夫・順子

82歳のバーバラさんはとてもお元気でフレンドリーな方でした。グルテンフリーとお聞きしていたので食事の内容については前もって色々準備しました。一日目の手巻き寿司も醤油やお酢等の具材も吟味しました。焼きのりを上手に巻いて美味しいと言いながらたくさん食べてくれました。おしゃべりが大好きでご家族の事やペットの事、昨年亡くなられたご主人の思い出話など話は尽きませんでした。



11月 オーストラリア、マウントバーカー渡航のご案内

“オーストラリアで知っている都市名を10以上あげてください”と言われて、マウントバーカーの名前を上げる人は何人いるのでしょうか？中々出てこない都市名ですが、マウントバーカーはオーストラリアで最初(1982年)に設立されたFFクラブの所在地です。南オーストラリア州の州都アデレードから車で東へ約1時間、自然が豊かで美しく、コアラやカンガルーをはじめ沢山の野生生物にも出会えます。ワイナリーが連なり、ワイナリー巡りも可能です。自然の中でゆったりと春の交流を楽しむ事によって異なった文化体験が出来る良い機会です。交流後、西オーストラリアのパースへのオプション滞在を企画しています。邦人滞在者数も7000~8000人、留学生も多く、住み良い街として知られています。又、素晴らしいビーチや広大な自然に恵まれており興味は尽きません。期間は11月初頭からオプションツアーを含めて約10日の予定です。皆様、是非予定に入れておいてご参加下さい。(AC 西田)



2026年 今後の予定

- 6月中旬 オーストラリア、マウントバーカー渡航希望者申し込み受け付け
- 6月27日(土) 中部ブロック会議(愛知クラブ主催) 会場：名古屋市内ホテル ルブラ王山
- 10月24日(土) 日本大会(長崎クラブ主催) 会場：長崎市内 ANA クラウンプラザホテル
- 11月(詳細日程未定) オーストラリア、マウントバーカー渡航 約10日間
- 11月15日(日) 渡航報告会(渡航日程により変更あり)
- 11月23日(月祝) 総合フェスタ 会場：大阪市立総合生涯学習センター
- 12月20日(日) 忘年会(会場：未定)

編集後記

新竹クラブの受入れの体験談では、多くの笑顔や再会、心の通うエピソードが詰まっています。アンバサダーの皆さんの明るさとパワーに、私たちもたくさんの元気をもらえた交流となりました。(KS)

編集発行 フレンドシップフォース 大阪クラブ

発行日 2026年6月1日 第81号

事務局 〒573-0032 枚方市岡東町1-10

金山忠夫 kanayama573@gaia.eonet.ne.jp

編集人 佐藤、金山、西田、三枝

ホームページ <https://ffosakaclub.jp>